

坂総合病院附属北部診療所デイケアです。



毎日みんなでおもりをつけて足上げしています！



ST 訓練の1コマ

和やかに OT 訓練中

◎私たちの施設の特徴◎

- ・当施設は、塩竈神社の北部にあります。1つの建物内に診療所、通所リハビリテーション、居宅介護支援、訪問介護、訪問看護が入っており、多職種が連携を取り合い、医療と福祉の総合センターとして地域の役割を担っています。
- ・通所リハビリテーションでは、1日の定員が20名で介護・リハビリ・ボランティアスタッフで運営しています。リハビリスタッフは、作業療法士が1名常時おり、坂総合病院より言語聴覚士が週に2日、その他に、理学療法士による個別リハビリも行っています。
- ・1日の大半はリハビリが中心となっていて、理学・作業・言語療法の個別リハビリや集団リハビリ（体操、筋力トレーニング、歩行訓練など）を行っています。利用者様の運動への意欲も高く、みなさん休憩以外は活動的に過ごされています。

<リハビリテーションに関する連絡先>

北部診療所 通所リハビリテーション

住所：〒985-0085 塩竈市庚塚 1-3

電話：022-389-8601 / ファクシミリ：022-389-8603

塩竈
地区

リハビリネットワーク通信

第6号

(平成29年7月発行)

発行元：
宮城県仙台保健福祉事務所
健康づくり支援班
022-363-5503 (直通)

Qにお答えします

- Q. 地域包括ケアは顔のみえる関係が重要視されている中で貴施設が多職種との連携で工夫されていること、他施設と連携をとるために取り組まれていることがあれば教えてください。(まつしまの郷)
- A. 多職種との連携で工夫していることは、○会議などに限らず、確認・相談等したいときは、すぐに連絡をとるようにしています。すれ違ったときに捕まえたり捕まったりすることもあります。
- 他施設と連携をとるために取り組んでいることは、担当者会議やリハビリカンファレンスなどで顔を合わせ利用者様の目標に沿ったチームアプローチができるように情報を共有したり、ケアマネジャーを通して連絡したりしています。

バトンでつなごう

一問一答 ~紹介リレー~



次回：ケアステーションしおかぜ
さんへバトンタッチ

●質問コーナー●

- Q. ご自宅への訪問時間は限られていますが、リハビリ意欲の低い利用者様へリハビリを行う際、どのような工夫をされていますか？

「リハビリの カすごいよ 旅に行く」(通所利用者様)

【解説】通所しリハビリを行うことで元気をいただき、気持ちも晴れ晴れし、旅好きの私はまだ旅行できてはいませんが、これから旅に行くぞと希望を込めて。

「リハビリで 励ましあって いる笑顔」(介護福祉士)

【解説】一人で運動するのはつらいですが、ふと、お隣から励ましの声。嬉しくなって、今度は励ます方に。自然と、利用者様同士で心通わせ笑顔になっていく様子がみられます。

「かけ声を かけると 楽だね どっこいしょー」(作業療法士)

【解説】かけ声は、ご自身の気合入れと、スタッフからの声援です。かけ声をかけると体が軽く感じて運動しやすくなります。

リハビリ川柳